

ステップだより

拠点校：日野市立南平小学校

巡回校：日野市立豊田小学校

令和5年 6月号

声かけの仕方

爽やかな5月が終わり、6月になりました。あっと言う間に1学期の折り返しの時期です。最初の授業の日は、「どんなことを勉強するの？」と質問したり、緊張したりする様子の子供も見られましたが、最近では慣れてきて、同じグループの友達にすすんで挨拶をしたり、会話をして関わりを楽しんだりする姿が見られるようになりました。6月は梅雨の時期でもあり、少しずつ疲れが溜まっていく時期でもあります。日々「嬉しい」「悲しい」「楽しい」「不安」等の気持ちを抱えている子供たち。毎日様々な気持ちを抱えながら、前向きに頑張る子供たちを、今後も応援していきたいと思います。

日々、子供たちと関わる中で大切にしていることが「声かけ」です。声かけの仕方によっては、こちらの思いがうまく伝わったり、うまく伝わらなかったりすることがあります。うまく伝わらず、ついつい怒ってしまうことも少なからずあるかもしれません。そこで今回は、大人と子供が少しでも楽になる、大人が子供と関わるうえで参考になる「声かけ変換」「声かけの仕方」について一部ご紹介したいと思います。

【声かけ変換】

BEFORE	AFTER	POINT
〇〇しちゃダメ！	〇〇しよう	ダメなことより「やっていいこと」を伝える。
ちょっと待って	あと〇分待ってね	あいまいな言葉は具体的に翻訳してあげる。
いつまでやってるの！	5分で終われば、あと10分あそべるよ	メリットになることを合理的に伝える。(子供のモチベーションもUP)
スゴイね！/エライね！	〇〇できたね/〇〇しているね	評価ではなく、気付いたことをそのまま伝える。
宿題、いつまでかかるの！？	ここまで終わったら、おやつにしよう	目的地を設定して、ゴールが見えるようにする。

【失敗してしまったときの声かけの仕方】

人間、生きていれば失敗はします。完璧な人はいません。やってしまった失敗を責めるよりも、一刻も早くそこからリカバリーできることが大切です。例えば、子供が悪気なく、食卓のお茶やお味噌汁などをこぼしてしまったら、「雑巾で拭けばOK」「食器を流しに持って行ってくれる？」など、できるだけ自分で対処できるように、具体的に声かけするとよいでしょう。失敗への対処を、親がその都度教えるのも大変なので、「失敗マニュアル」を作っておくのも良いかもしれません。

6月の学習予定

- ・オリジナルすごろく
- ・新聞チャレンジ

- ・気持ちの言葉
- ・ま、いっか

- ・風船バレー
- ・話し合い活動 など



<4、5月はこんなことをしました♪>

【始まりの会】

フレンドタイムが始まる前は始まりの会をします。1. あいさつ 2. 日付・天気の確認 3. 心の温度計 4. おはなしです。心の温度計では、その日の自分の体調や気持ちについて、8つの表情カードから1～2つを選んで発表します。「元気すっきり、いい感じですよ。」と答える日もあれば、「疲れた・ぐったりです。」と答える日もあります。大切なのは、自分の調子に合ったものを選ぶということです。なぜそれを選んだのか、理由について考えることで自身について振り返ることができます。おはなしでは、学習内容や学習のめあてを確認します。今後もステップ教室では、その子に応じた自己理解が進むように学習していきます。

8つの表情カード



【フレンドタイム】

フレンドタイムでは、気持ちの切り替えや、友達と協力する楽しさ、状況に合ったより適切な振る舞い方などについて友達と一緒に学習します。授業の最初に一人一人に合っためあて（頑張ること）を設定し、活動後に振り返り（自己評価、他者評価）をします。

初めてのフレンドタイムでは、「自己紹介」をしました。初めは「緊張する・・・。」と不安を伝えていた子も、練習をしたり他の子が発表しているのを見たりして、自分なりの方法で落ち着いて発表することができました。初めての場所や慣れない人の前で話すこと、あまり経験のないことに挑戦することはとても勇気がいります。ステップ教室での活動を通して、様々な経験を積むことができるよう意図的に機会を作っていきます。

【何が隠れているでしょう】

テレビの黒い画面に開いている小さな穴をよく見て、何が隠れているのかを考えます。この穴は動くので、動いた穴から見えるヒントを手掛かりに、答えを考えていきます。答えが分かったら、答えを言わずにホワイトボードに書きます。犬やペンギンなど、子供たちに親しみのある動物をクイズにしました。一度動いたものを見ただけで「あ、あれだ。」と呟きながらも、発言ルールをもとに答えは言わないでボードに書いたり、答えが分からないときはお願いしてもう一回見せてもらったりする等、様々な子供たちの様子が見られました。丁寧なお願いの仕方を確認すると、それを意識して「もう一回お願いします。」と丁寧をお願いする子供の姿も見られました。

